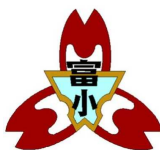


ガジュマルの聲



＜教育目標＞
『豊かな未来を拓く
児童の育成』

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

最高のスタート!

新年度スタートの3日間は、「黄金（ゴールド）の3日間」と言われ、学校の1年間を左右する重要な時間です。全ての子供が、新しい担任との出会いに希望と不安を抱きながら、「今年は（も）頑張るぞ!」という意欲に満ちて登校するからです。我々教職員は、子供たちの期待に応える出会いを演出する必要があります。

4月7日の始業式で、次のような講話をしました。

1. 春休み中、学校の敷地内のゴミは昨年と比べて1/20以下、学校周りのゴミは1/10以下だった。みなさんが公共マナーを意識して過ごしてくれたので、気持ちよく新年度を迎えられる。
2. 年度が替わる今の時期は、心と体の「良いスイッチ」が入りやすくなる時期。「良いスイッチ」を入れるコツが3つある。。

- (1) わくわくしよう
- (2) 気持ちの良いあいさつをしよう
- (3) 「ありがとう」とたくさん言おう。言ってもらおう

3. 「ありがとうゲーム」をしてみよう
- (1) 1日4回「ありがとう」と言われるゲーム

- ① 1日4回「ありがとう」と言うのも難しいが、言ってもらえるのはもっと難しい。

「良いスイッチの入れ方」については、昨年度の始業式でも話しました。環境ガラッと変わる年度当初は、心身の「良いスイッチ」を入れる絶好のチャンスなのです。大切なことなので、今年も話しました。

「黄金の3日間」に各教室を回ると、様々な学級開きが行われていました。

- ① 出合いを喜ぶ交流ゲームをしている。
- ② 担任の思いを伝え、「1年間こんなことを頑張ろう」「こんな学級にしていこう」と目標を設定している。
- ③ 学習用具やルールを確認している。
- ④ 当番活動等のルールを確認している。

どの学級でも、目を輝かせながら担任の語りを聞く子どもたちの姿が見られ、とても嬉しくなりました。令和5年度の富江小学校のスタートは最高の滑り出しです。この流れを大切にしながら、教育活動を充実させていきます。

1年生もがんばっています

4月11日（火）入学式で、12名の1年生を迎えました。入学式直後はとても緊張していた1年生も、少しずつ学校に慣れてきたようです。教室を覗くと、担任の藤原の指示を聞いて、賢く行動する場面をよく見かけます。掃除や当番活動の進め方、発表の仕方など、教えられたことをすぐに実行する素直さが素敵です。下校時には、外から職員室に向かって、「さようなら～」「お仕事頑張ってるね～」と元気に声をかけて帰ります。職員室のスタッフ一同、毎日癒やされています。

